

R&Dスタッフによる異業種交流・相互啓発・人的ネットワーク形成の場

R&Dマネジメント交流会議

開催にあたって

R&Dマネジメント交流会議は、R&Dスタッフの相互啓発と異業種交流を目的として1967年の創設以来、メンバー間の活発な研究と討議を積み重ね、おかげさまで59年目の活動に入ります。
第59期となる今期は、社会的課題の解決を視野に「イノベーション創出に向けたR&Dマネジメントの変革・進化と組織活性化」を主題テーマに掲げ、メンバーシップを基本に互いに学び合い、R&Dマネジメントのあるべき姿を探究する場として活動してまいります。異業種間による情報交換や人的ネットワークの形成、さらには各自の課題究明、自社展開の絶好の機会として、熱意ある皆様のご参加をご期待申し上げる次第です。

※ 入会ご検討中の方は、第1回例会に限り体験参加頂けます(要事前予約)。

開催要領

開催期間：2025年4月～2026年3月（全12会合）

日時：年間プログラムの開催日程に沿って開催（13:30～17:00）

開催：開催当初は「オンライン(Zoom)と会場開催(都内会議室)」での併用開催。

※第3回例会(合宿研究会)より、原則会場開催を予定。

< 第1回例会 > 2025年4月17日(木) 13:30～18:00 オンライン(Zoom)と会場の併用開催

【基調講演①】 戦略的技術マネジメント ～科学・技術とビジネスの架け橋～

(ご講演) 山口大学 理事 副学長(学術研究担当) 上西 研 氏

平16.01 山口大学工学部教授、平17.04 山口大学大学院技術経営研究科教授、同 大学院技術経営研究科長、平27.04 山口大学学長特命補佐、平28.04 同特命補佐(イノベーション教育担当)、山口大学教育機構大学院教育センター長、令02.04 国立大学法人山口大学 理事 副学長(学術研究担当)、同大学院技術経営研究科教授(兼務)を歴任。現在に至る。



【オリエンテーションとメンバー交流】

< 第2回例会 > 2025年5月29日(木) 13:30～17:00 オンライン(Zoom)と会場の併用開催

【基本解説①】 R&Dマネジメントの「基本的考え方」と「研究企画部門の役割」

(ご講演) 本会議 コーディネーター 植村 真樹 氏

日本化粧品技術者会 東日本支部事務局／R & D戦略・組織活性化アドバイザー
(元 株資生堂 フロンティアサイエンス事業部長)

【グループディスカッションと問題意識の交流】

< 第3回例会 > 2025年6月13・14日(金・土) 合宿研究会 (静岡県御殿場方面での宿泊研修を予定)

【メンバー討議】 メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題

「メンバー交流シート」を活用し、参加メンバーの課題意識を共有するとともに、課題解決に向けた方策とそのための今後の議論の方向性を考察します。

< 第4回例会 > 2025年7月24日(木) 13:30～17:00

【基本解説②】 研究開発の価値評価

～イノベーション時代の費用対効果の実践的考え方～

(ご講演) 株テクノ・インテグレーション 代表取締役 出川 通 氏

【基本解説②を受けてのグループディスカッションと問題意識の交流】

参加対象

- R&Dマネジメントについて明確な問題意識を持ち、積極的な意見交流を希望される方々
 - 事業会社のR&D企画部門を中心に、R&Dマネジメントに携わる方々
- ※コンサルティング関係の方々のご参加はご遠慮いただいております。

年間スケジュール： 2025年4月～2026年3月(全12回/13:30～17:00を原則)。

第1回 2025年 4/17(木)	【基調講演①】 戦略的技術マネジメント～科学・技術とビジネスの架け橋～ 山口大学 理事 副学長(学術研究担当) 上西 研 氏 【オリエンテーションとメンバー交流】
第2回 5/29(木)	【基本解説①】 R & Dマネジメントの「基本的考え方」と「研究企画部門の役割」 本会議コーディネーター 植村 真樹 氏 【グループディスカッションと問題意識の交流】
第3回 6/13、14 (金・土)	【合宿研究会：メンバー討議】 メンバー各社における R & Dマネジメントの現状と課題 「メンバー交流シート」の活用により参加メンバーの課題意識の共有と、 課題解決に向けた方策や、今後の議論の方向性を探ります。
第4回 7/24(木)	【基本解説②】 研究開発の価値評価 ～イノベーション時代の費用対効果の実践的考え方～ (株) テクノ・インテグレーション 代表取締役 出川 通 氏 【基本解説を受けてグループディスカッション】 研究から開発、事業化へのプロセスとスタッフの役割
第5回 8/28(木)	第5回例会以降は、下記の時間構成で進めてまいります。 第 1 部：13:30～15:00 ・ ゲスト講演 ・ メンバー発表 ➡ 第 2 部：15:00～17:00 ・ グループディスカッション ・ テーマ別分科会討議*
第6回 9/25(木)	
第7回 10/23(木)	【主な「ゲスト講演テーマ」や「分科会・研究討議テーマ」の例示】 ■ テーマ・マネジメント(探索、推進、評価…) ■ R & D成果の事業化とイノベーション創出 ■ 競争力を高める R & D戦略の立案 ■ R & Dにおける組織と人財のマネジメント ほか、メンバーニーズに基づき設定してまいります。
第8回 11/20(木)	
第9回 12/18(木)	【*テーマ別分科会とは】 関心テーマ別に固定メンバーによるチームを編成し、複数回にわたり集中討議を行います。 異業種各社のメンバーが各々の知見を持ち寄り、自己課題解決の考え方、コンセプト、具体的 な実践方策を研究・討議いたします。
第10回 1/23、24 (金・土)	【参考：前期(第58期)のテーマ別分科会テーマ】 ■ V U C A時代における「R & D戦略」の策定 (6社6名×1チーム) ■ イノベーションを生む「テーマの創出」と「事業化成功の秘訣」 (6社6名×3チーム) ■ 「個」を活かしイノベーションを生み続ける組織づくりとマネジメント(6社6名×2チーム)
第11回 2/19(木)	【合宿研究会】 第3回例会<6/13～6/14(金・土)>、第10回例会<1/23～1/24(金・土)>で開催 ■ 一泊二日にわたる合宿研究会は、メンバーが抱える問題や課題について相互に学び合い、 知的交流を深め、人的ネットワーク構築の好機です。
第12回 3/19(木)	【最終例会】 分科会活動成果の発表会：今期の振り返りと新たな課題意識の共有

運営体制：本会議の企画運営およびサポートを頂きます。

- 【運営幹事】
実務家数氏にご依頼中
- 【コーディネーター】
植村 真樹 氏 日本化粧品技術者会 東日本支部 事務局／R&D戦略・活性化アドバイザー
元 (株) 資生堂 フロンティアサイエンス事業部長
- 【研究協力委員】
高橋 富男 氏 元 東北大学特任教授 産学連携推進本部 副本部長

第59期主題：イノベーション創出に向けたR&Dマネジメントの変革・進化と組織活性化

企業競争力を高めるR&D戦略の立案

- ◆ R&Dを方向づけるビジョン、経営戦略とR&D戦略の整合性
- ◆ コア技術の明確化と強化、拡充
- ◆ コーポレート研究と事業部門研究のミッションと連携
- ◆ 将来の市場、技術予想とロードマップの作成
- ◆ 「選択と集中」の技術ポートフォリオマネジメント
- ◆ R&D部門のグローバル化対応

テーマ・マネジメント（探索、推進、評価）

- ◆ テーマ探索の具体的方法とマネジメント
- ◆ コア技術戦略の布石、融合、展開
- ◆ 社会トレンドとテーマ設定の方向性
- ◆ テーマの発案と評価、推進のマネジメント
- ◆ 研究フェーズと開発フェーズのマネジメントの相違・・・

R&Dマネジメントの役割と目的

- ◆ R&Dでのリーダーシップとマネジメント
- ◆ 勝てるR&D戦略、差別化戦略、知財戦略
- ◆ 経営にインパクトを与える成果を得る仕組みづくりとサポート体制の整備
- ◆ R&D部門における企画の役割・・・

R&D成果の事業化と新規事業創出

- ◆ 事業価値を考えたR&D成果の活用
- ◆ R&Dとマーケティング、オープンイノベーション
- ◆ プロジェクト推進とゲート評価
- ◆ 研究から開発、事業化へのプロセス、死の谷の克服・・・

組織と人材のマネジメント

- ◆ 組織を不活性化させない仕組みづくり
- ◆ 創造的組織、風土の醸成
- ◆ カオスと秩序のバランス
- ◆ 創造的人材の発掘と育成・・・

前期（58期）活動内容（2024年4月～2025年3月：全12会合実施）

第1回	【基調講演】Deep Tech ～世界の未来を切り拓く「眠れる技術」～ 【オリエンテーション ～自己・自社紹介と課題意識の共有～】	(株) リバネス 代表取締役COO 様
第2回	【基本解説①】 R&Dマネジメントの基本的考え方と研究企画部門の役割 【グループディスカッション】企業の成長に寄与するR&Dマネジメントとは？	本会議 コーディネーター 高橋 富男 氏
第3回 合宿研究会	【メンバー集中討議】 メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題 ～メンバー交流シートをもとに課題意識の共有、意見交換～	
第4回	【基本解説②】 VUCA時代の価値づくりと元氣な組織をつくる R & D マネジメント 【グループディスカッション】研究から開発、事業化へのプロセスとスタッフの役割	本会議 副コーディネーター 植村 真樹 氏
第5回	【ゲスト講演】 R & D マネジメントと組織風土改革～展開事例を交え～ 【ゲスト講演を受けてのグループディスカッション・意見交換】	京都高度技術研究所 イノベーションセンター コーディネーター 様
第6回	【ゲスト講演】 不確実性を受け入れて臨む長期戦略～シナリオプランニングとは？～ 【テーマ別分科会討議、第1回】	未来舎 代表 Intelligence Evangelist 様
第7回	【メンバー話題提供】 我社の R & D マネジメントの現状・課題と今後の方向 【テーマ別分科会討議、第1回】	パナソニック 様 テルモ 様 シスメックス 様
第8回	【ゲスト講演】 パーパス経営の視点から見たイノベーションマネジメントの考察 【テーマ別分科会討議、第2回】	千葉工業大学 経営情報学科 教授 様
第9回	【分科会中間報告会】これまでの議論の様子や今後の方向性などを報告 【テーマ別分科会討議、第3回】	
第10回 合宿研究会	【ゲスト講演】最近の技術経営マネジメントの動向～未来を予測するか、未来をつくるか～ 【テーマ別分科会討議、第4回】	立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 教授 様
第11回	【テーマ別分科会討議、第5回】これまでの議論の整理と成果報告に向けての集中討議	
第12回	【分科会活動報告会】議論・研究討議の成果発表と成果資料交換・全体共有	

味の素	バイオ・ファイン研究所 研究管理部 基盤・ガバナンスグループ長
味の素	バイオ・ファイン研究所 研究管理部 企画・推進グループ長
A G C	材料融合研究所 開発推進チーム DDP支援パートナー
A G C	材料融合研究所 開発推進チーム シニアマネージャー
エステー	研究戦略部 部長
荏原製作所	技術管理部 研究管理課 課長
オリンパス	EC, 兼 R&D組織・健康統括,Globalシニアプリンシパル
オリンパス	開発統括, グローバル
カワダロボティクス	技術部 部長
キューピー	研究開発本部 食創造研究所 タマゴ開発部
キューピー	研究開発本部 技術ソリューション研究所 機能素材研究部
キリンホールディングス	研究開発推進部
ジェイテクト	研究統括部 研究企画室 プロジェクトマネージャー
ジェイテクト	研究統括部 研究企画室 室長
シスメックス	研究開発支援センター 技術人材開発部 課長
積水化学工業	社長室 政策調査グループ長
積水化学工業	先進技術研究所 企画センター領域プロジェクト 係長
セントラル硝子	New-STEP研究所 主席研究員

ダイキン工業	テカロジック・イノベーションセンター担当部長
太陽誘電	開発企画部 新川崎センター-SOLairoLab 担当課長
テーブルマーク	食品総合研究所 研究企画チーム
テルモ	人事部 HRBP(CTO管轄 兼 心臓血管カテー)部長
東急建設	技術研究所 建築基盤技術研究部 振動・音響Gリーダー
豊田合成	技術管理部 室長
パナソニック	くらしのQ&Aイノベーション本部 イノベーション戦略室 戦略企画部 部長
ファンケル	総合研究所 研究戦略推進室 研究企画グループ
ファンケル	総合研究所 研究戦略推進室 研究企画グループ 係長
ブリヂストン	G技術戦略部
三菱鉛筆	技術企画室 室長
村田製作所	技術管理部 技術管理5課マネージャー
森永製菓	感性科学研究センター
ヤマハ発動機	技術・研究本部 技術戦略部 技術戦略グループ
横河電機	マーケティング本部イノベーションセンター戦略企画部
L I X I L	技術企画部 部長
L I X I L	L T H技術研究所 課長

これまでの参加者の声

- ◆他業種の皆様と様々な課題を共用できたことはとても有意義でした。事業戦略に沿った、自社/自部門のコア技術を生かした顧客価値とは具体的に何か？を今一度よく考え、研究開発に取り組んでいきたいと思います。
- ◆皆様のサポートで意見の発散から収束させていく過程を経験でき、本会議の素晴らしさを知った。この経験を自社での活動に活かしたい。
- ◆議論を重ねる中で、一つの方程式に到達した時は、感慨深かった。そしてそれを中期計画の資料にすぐ活用でき、充実した一年となった。
- ◆皆様との活動がまさに「D & I」で大変有意義でした。今回議論して導き出した成果を基に「個が活きる」組織づくりができるよう自社に展開します。
- ◆方程式の各要素の重要性は分かっていたつもりだったが、方程式の形となることで各々の関係性が整理され、理解が深まった。自社にフィットする重みづけを考えたい。
- ◆「社会課題を自らが解決するのだ」と強い意志を持った組織を目指し、アイデア提案の場や人材育成など新規事業創出の組織作りに注力します。

参加要領

【事業コード：250028】

■ 参加費／1名様

正会員：297,000円（本体価格 270,000＋税）
一般：330,000円（本体価格 300,000＋税）

※上記料金は資料代・通信費などを含んでおります。
※合宿研究会など実施の際は、参加費を別途ご請求致します。
※参加費の分割支払いも可能です。
お気軽にご相談ください。

■ 申込方法

企業研究会のウェブサイトで

R&Dマネジメント交流会議



「お申込は[こちら](#)」からお申し込みください。

※お申込みをいただいた方（含む体験参加の方）には、第1回例会のご案内をメール送信いたします。

■ 体験参加

第1回例会（4/17）は、参加をご検討中の方に、本会議の雰囲気をご覧頂く体験参加が可能です。
要：事前予約。

※「体験参加」は、正式参加メンバー募集の一環としてご案内しております。
体験参加後、正式ご参加をいただく際、正規のご参加費を申し受けます。

■ お問い合わせ・お申込先

一般社団法人 企業研究会 担当:小野原(おのの)／池田

E-mail : onohara@bri.or.jp

TEL: 080-1393-5593 (直通)

〒110-0015 台東区東上野1-13-7 ハナブサビル